

# 次世代の学校組織における教員の協働性に関する研究拠点

グループリーダー 教育学研究科 脇本健弘

## ①拠点の目的・概要

次世代の学校組織の協働のあり方を明らかにし、  
その実現を目指す

### ○研究の概要

#### (1) これからの学校組織における協働

- ・学校組織を経営学的概念をもとに捉える
- ・学校という組織の特徴を踏まえた新たな協働のあり方を示す

#### (2) 上記協働を実現する

##### 人材開発・組織開発プログラムの開発

- ・人材開発プログラムによる教師の育成
- ・組織開発プログラムによる学校組織の改善

### ○研究の背景

教師の協働「自在に動くモザイク型」

⇒プロジェクト型 (Hargreaves 1994 ; 秋田 1998)

その時々目的や必要に応じて力動的に集団のあり方が変化様々な形で教師同士がつながりあう

日本においては同僚性の高さにより、自在に動くモザイク型の協働が実現

同僚性の危機⇒これからの教師の協働とは？

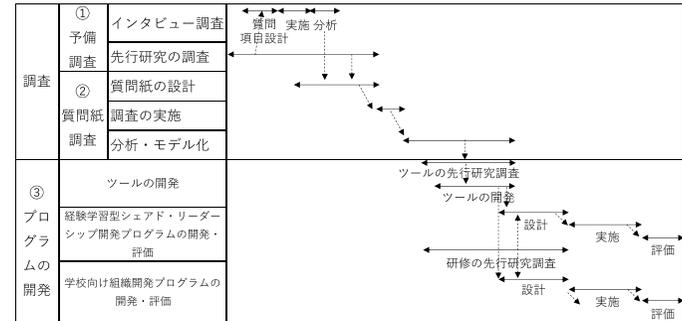
## ②研究計画

### ○協働性に関する実態調査

- ・質問紙調査（+質的調査）：「自在に動くモザイク型」の実現に寄与する教師の行動を明らかにする。

### ○研修・組織開発プログラムの開発・評価

- ・調査をもとに、経験学習理論などをもとにした研修、組織開発プログラムを開発。教員研修等で実施、その評価を行う。



## ③拠点のメンバーと役割・専門

### ○教育学観点（学校組織、協働を再定義する）

- ・脇本健弘（教育学研究科・教師教育）
- ・松原雅俊（教育学研究科・教育経営）
- ・柳澤尚利，鈴木紀知（横浜市教育委員会）

### ○経営学的観点（様々な観点から組織を分析する）

- ・真鍋 誠司（国際社会科学研究院・イノベーション論）
- ・山岡 徹（国際社会科学研究院・経営管理論）
- ・佐々木 秀綱（国際社会科学研究院・組織行動論）
- ・館野泰一（立教大学経営学部・リーダーシップ論）